

(仮)住生活マスタープラン 目指すべき姿と基本目標(案)と部会委員の主な意見

資料 26 参考資料

	事務局修正案		部会委員の主な意見
		修正案の考え方	
	(全体について)	・すべての基本目標は、足立区にしかないもの、足立区の独自性を出すためにも「足立」という言葉を追加した。	指標又は実現手段がわかり、足立区の地域性と姿勢がよく出ている。
目指すべき姿	ともに創り 住み継がれる 魅力ある地域と豊かな住生活 足立	・多様な人々が互いの役割を果たし、まちを創り動かす「協創力」により、30年先も住み継がれていく足立を目指して、ハードとソフトの視点から取り組み、豊かな住生活を実現していく。	
基本目標1	【ひと】 住みたい・住み続けたい 足立で多様なライフスタイルを実現する	・足立区生まれ・育ちの区民を増やす、若年世帯を呼び込む、三世代近居を推進するなどにより、バランスのとれた人口構造を適切に維持することを目指す。 ・多様な人々が互いに刺激し高めあう住生活ために、多様なライフスタイルが実現できる環境づくりを推進する。	「住みたくなる」ではどうか。 <u>医・職・住＋教の環境整備、充実</u> を図る視点を追加してはどうか。
基本目標2	【くらし】 地域が見守り支えあう 安全・安心に住まう足立のくらしを磨く	・足立の先進的な安全・安心に関するハード面とソフト面の取り組みを、 <u>地域の見守りや支えあい</u> により一層高める。 ・ <u>住み慣れた地域や住まい</u> で、住民がお互いに支えあうことができる安全・安心なくらしづくりを推進する。	「…見守り支えあい」の方がつながりがよい。
基本目標3	【まち】 足立らしい地域の魅力を発見し 誰もが住みやすいまちを育てる	・区民が自分の住む <u>地域の魅力</u> を発見し、その魅力を行政とともに区内外に発信することで、区民の誰もが <u>自慢できるまち</u> をつくる。 ・ <u>環境にやさしい住まいづくりや住まいの適切な維持管理</u> などにより、 <u>良質な住宅ストック</u> の形成を推進する。	「歩いて楽しい生活の道がつながって、日々わくわくする暮らしの舞台」ではどうか。 <u>歩行者・自転車</u> を主役に、近所の散策や街歩きが楽しい <u>生活街路・緑道のネットワーク</u> がつながって、公民の集客施設がアクセスしやすい便利で豊かに暮らせるまちを再創造する。 「魅力を発見」する地域住民などの主語があるとよりわかりやすい。
基本目標4	【行財政】 公共住宅ストックを資源に 地域に開き連携する足立の新たな活力につなげる	・公営住宅、UR、J K Kなど <u>公共住宅ストック</u> を地域の資源としてとらえ、公共住宅の建替えに伴う創出用地などを <u>地域貢献</u> する場所とし、新たな活力をつくる。	住生活には公共住宅以外の公共施設も大きく関わる。 <u>公共施設再編計画との連動</u> を考慮して、「 <u>公共住宅等ストック</u> 」とした方がよいのではないかと。

